

“The Mystery of Easter Island”

という番組があります、イースター島の文明崩壊の原因を上手く説明しています。
総時間約50分の映像です（バージョンによって長い短いものもあります）。

注意：見るバージョンによって時間が多少ずれています。
（2021年度は以下の表示時間よりも1分ほど早くなっています。）

18' 38"（重要部分の開始）

[イースター島で]非常に悪い事が起こった。モアイ像が倒されたのである。

19' 10"

イースター島のモアイ像は16世紀に（ヨーロッパ人の到着の100年近くも前に）倒された。
しかも、ただ倒されただけではなく、復讐の念を持って破壊されたていた。倒れた時は首が
付いていたのに、後から壊された物もある。
ここの台座だけでも17体のモアイが倒されていた。

モアイの切り出し場も、ヨーロッパ人との接触の一世紀以上も前に放棄されていた。

島民の間では当時の苦難やカニバリズム（人食いの風習）の様子しか語り継がれておらず、
実際に何が起こったのか説明できる人は居ない。

20' 30"

そんな中、考古学者が新たな種類の石器、矢じり、を見つけた。この種類の石器は16世紀、
モアイ像の制作が放棄された後に作られ始めた様である。
何かの理由により、イースター島の人々は突然武器を作り出したのである。

21' 00"

そして科学者はなんの為にそれらの石器が使われたかを発見した。

ある考古学者は600個以上もの頭蓋骨に重度の傷があるのを発見した。この頭蓋骨は右側から
叩かれ、左半分が粉々に砕けた状態だった。人々は戦争をしていたのである。

戦争が始まり、それまでのイースター島の社会が崩壊したのである。

22' 20"

しかし、なぜなのか？いったい何が原因なのか？

Dave Stetman が最初の手がかりを見つけた。彼はイースター島の食文化に関するエキスパー
トであるが、彼はある奇妙な変化に気づいた。古い地層からは大きなアホウドリの骨をは

じめ、たくさんの鳥の骨や今は無い木の化石が見つかった。

イースター島は昔、人々が最初に移住した時は世界でも最大級の鳥の楽園であり、他にも沢山の食料があった。しかし、16世紀までにはほとんどの鳥が居なくなったのが分かったのである。

24' 15"

25～30種の鳥が16世紀を境に居なくなった、そして、それは魚も同じであった。16世紀までにはそれまでに大量にあったマグロやサバの骨もほとんどなくなってしまった。今まで豊富だった島の食料が突然なくなってしまったのである。

24' 55"

当時の様子は木彫りの人形にはっきりと現れている。やせ細り、あばら骨が見えている。まるで島全体を飢饉が襲ったようである。

25' 20"

そして、島を襲った飢饉が更なる悲劇を生んだのである。

ちょっとした騒動、例えば食料を奪うことが大きな悲劇、復讐、戦争、そして人食いの文化までへと発展した。

26' 05"

しかし、何故イースター島は資源豊かな世界から食料が枯渇した世界へとかわってしまったのか？

科学者は最初、単に人口増加による食料資源の取り過ぎかと思っていた。ところが、実はもっと深刻なことが原因であった。そして、それがイースター島を飢饉と戦争の歴史へと永遠に変えてしまったのである。

26' 53"

ヨーロッパ人が初めてイースター島に着いたとき、彼らは周りの島々には青々とした森が覆い茂っているのに、イースター島には木がまったく無いことを不思議に思った。なぜこの島だけが違うのか？島民はどうやってモアイ像を動かしたのか？どうやって漁船（カヌー）を作ったのか？

27' 05"

答えは池の底から見つかった。

何千年もの間、いく層にも積もった泥の中にある植物の花粉が答えを教えてくださいました。John Flenley が調べた結果、最上層（一番新しい層）には予想通り、現在の島にある植物の花粉（円形）しか含まれていませんでした。

28' 11"

しかし、少し掘って古い地層に行くと、大量のヤシの木の花粉（楕円形）が見つかりました。その量は島全体がヤシの森で覆っていたと考えられるほどでした。では、いったいそのヤシの森には何が起こったのか？

実は、ヤシの花粉がなくなった地層は、島でモアイ像が破壊・放棄され、戦争が始まった時期と一致するのです。皮肉にもモアイ像の制作が島に戦争をもたらしたのです。

29' 09"

50トンもあるモアイ像を動かすと考えてください。一つのモアイ像を動かすために大量の木材が必要になります。しかも、モアイ像は年代を重ねるごとにどんどん大きくなっていきます。（一番大きいモアイ像は20m以上の長さがあり、重さ400トン以上もあります。）これはヤシの木の数に非常に大きな影響を与えました。

30' 15"

カヌーも家も木を必要として居ますが、島民にとって一番重要なモアイ像の為に木はどんどん切られていきました。ちょっとした高台に登れば島全体が見渡せるイースター島なので、最後の木を切った人はもちろんそれを分かっていたはずですが、それでも切り倒してしまったのです。

これは最も極端な人間による森林破壊の実例です。

31' 14"

森林破壊の影響はイースター島にとって壊滅的でした。

木が無ければ、雨は土をすべて流してしまいます。そして土が無ければ木や植物が育ちません。そして木が無ければ船を造って漁にも行けません。そして、それは、島から出ることができなくなったことを意味しています。結果として、人々は残ったわずかな資源を求めて戦争をはじめたのです。

32' 18"

イースター島の歴史は環境破壊の最も極端な実例であり、人災でした。イースター島は人間の行為で滅んだのだが、この話は私たちにとっても他人事ではありません。イースター島が太平洋の中で孤立しているように、地球も宇宙の中で孤立しているのです。

32' 50"

イースター島の島民は限られた資源を過剰に使用し、環境破壊を招き、滅んでしまいました。これは地球に住む我々にとって他人事でしょうか？イースター島の出来事は歴史からの警告です。

33' 51" : 必要部分の終わり